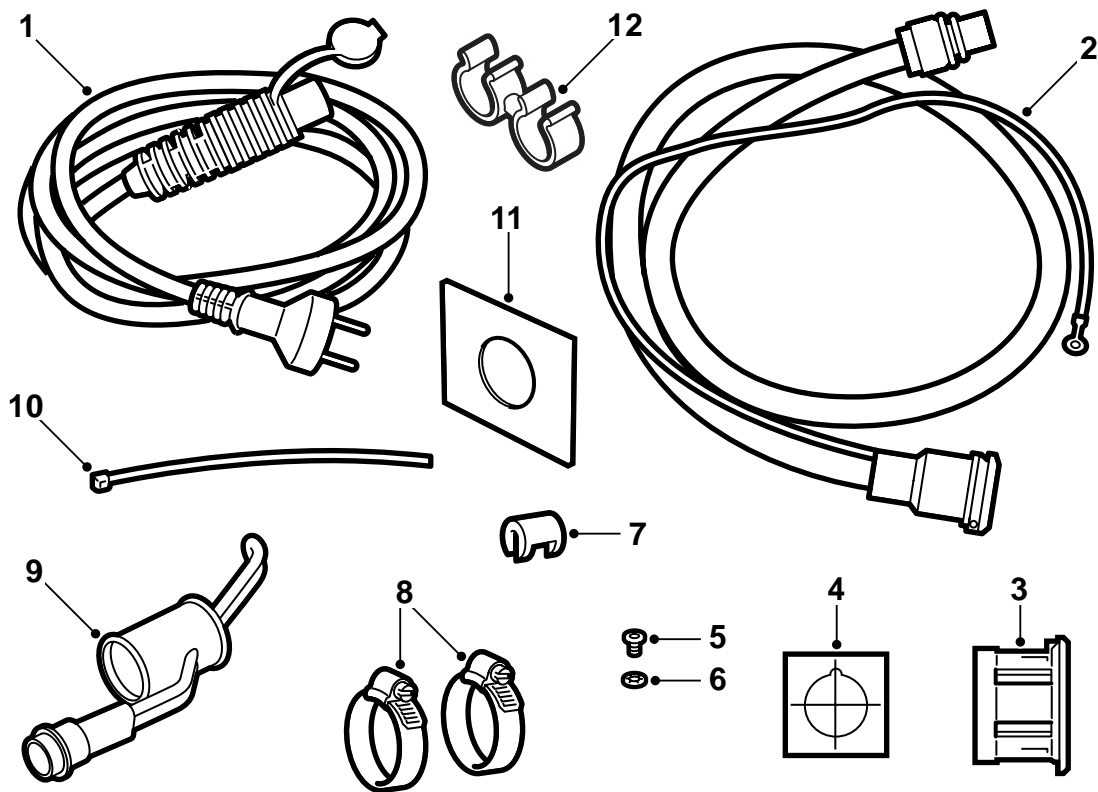


**SAAB****MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

Saab 9-5 B308 M00 以降

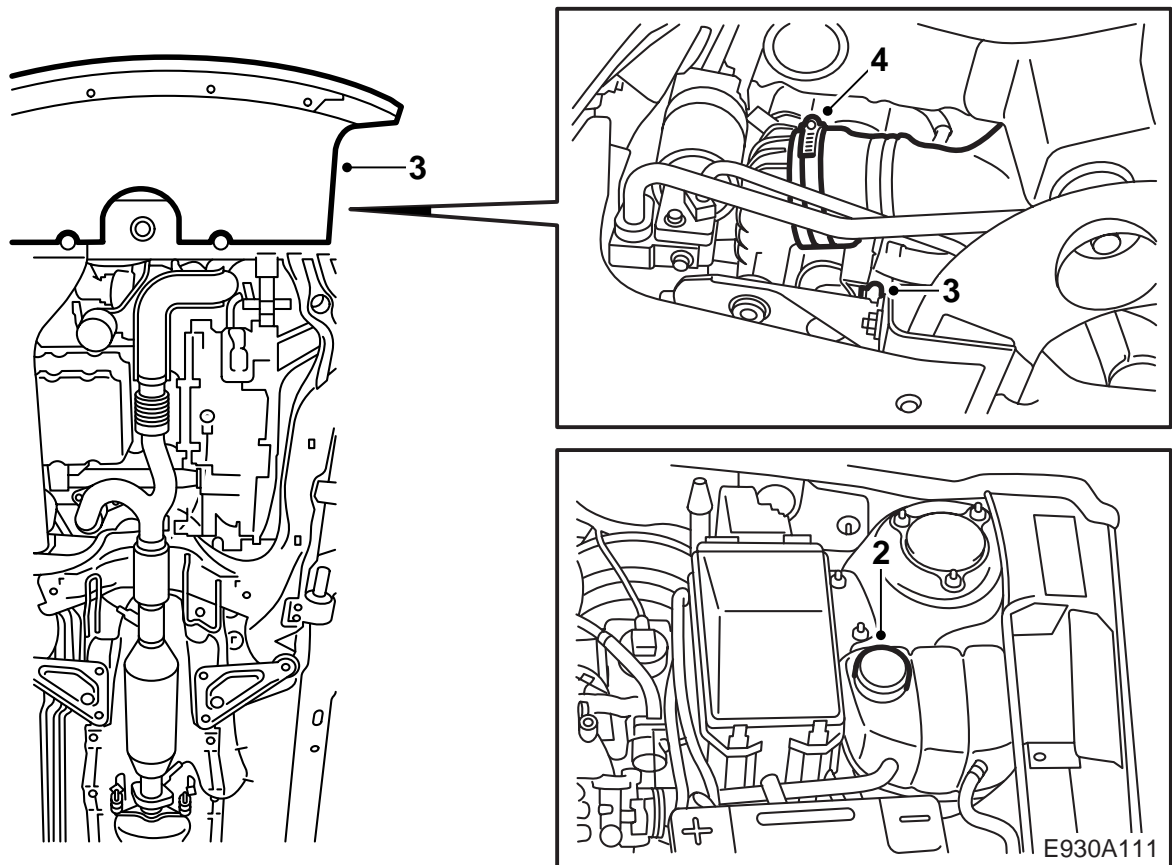
エンジンプロックヒーター

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
400 126 660	9:87-22	Dec 99	51 92 653	51 92 653 Oct 99



E930A121

- 1 接続ケーブル
- 2 インタークケーブル付きインタークソケット
- 3 エキスパンディングスリーブ
- 4 粘着式型紙
- 5 ネジ
- 6 歯付座金
- 7 ロッククリップ
- 8 ホースクランプ (2個)
- 9 発熱体
- 10 結束バンド (5本)
- 11 補強プレート
- 12 ダブルクリップ



- 1 取付説明書全体をよく読み、キット内容物が全てそろっていることを確認する。

注記

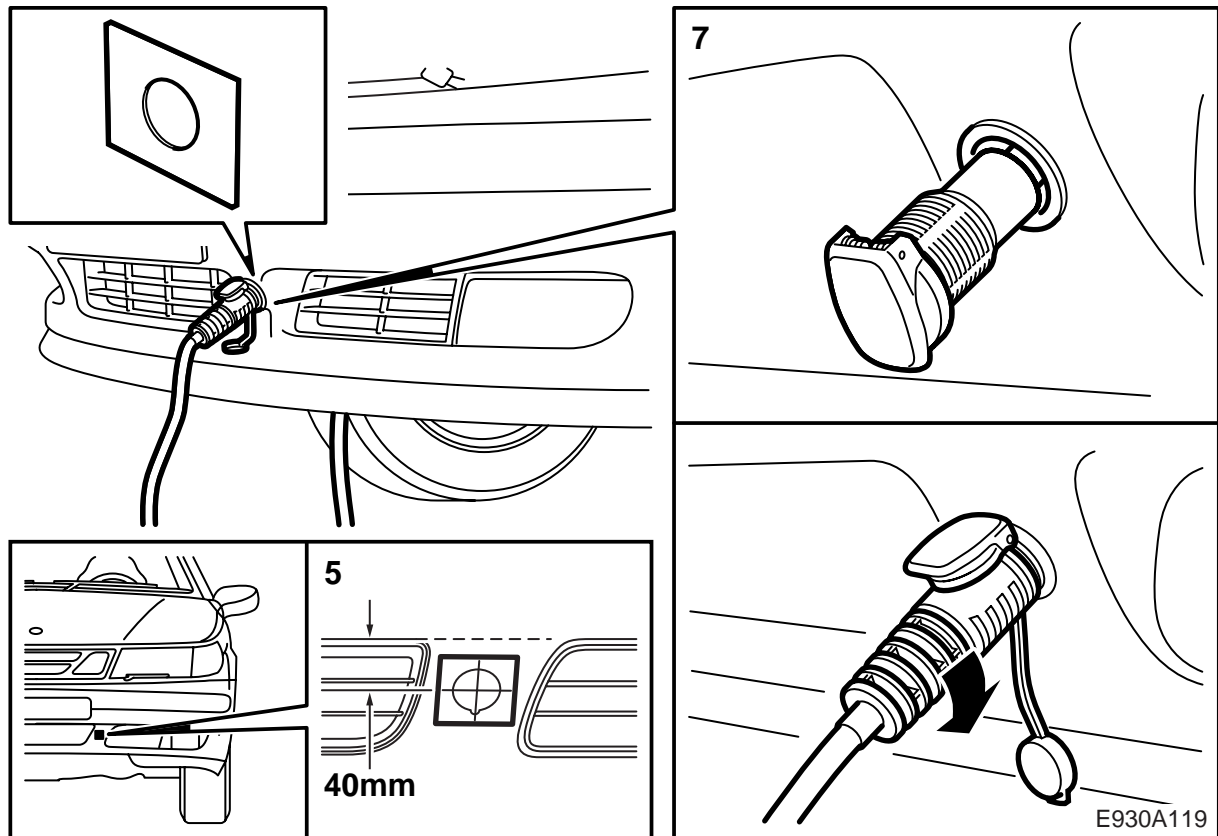
車に Saab オーディオシステム以外のラジオが搭載されているのであれば、ラジオコードを確認しメモしておくこと。

- 2 フェンダーカバーをかけ、冷却装置のエキスパンションタンクキャップを取る。

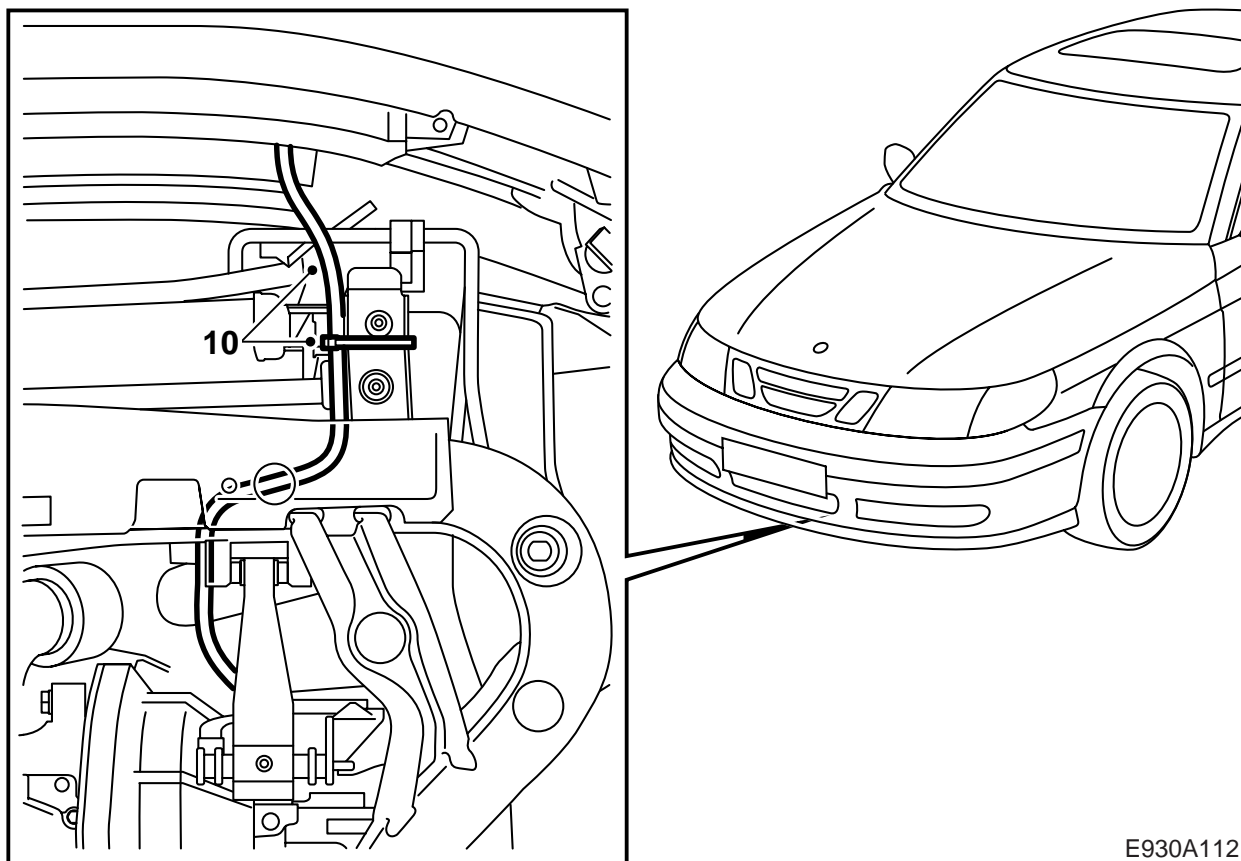
⚠ 警告

車のエンジンが暖まっている時には慎重を期すこと。冷却液が熱くなっている。エキゾーストマニホールドで火傷する危険性もある。

- 3 車をリフトアップする。冷却液を受ける容器を用意する。バンパー背後のエアシールドを取り外し、ホースを接続してドレインプラグを開き、冷却液を抜き取る。
- 4 インタークーラーからターボチャージャーデリバリーパイプのホースクランプを外す。インタークーラーにホースクランプを残したままにしておく。

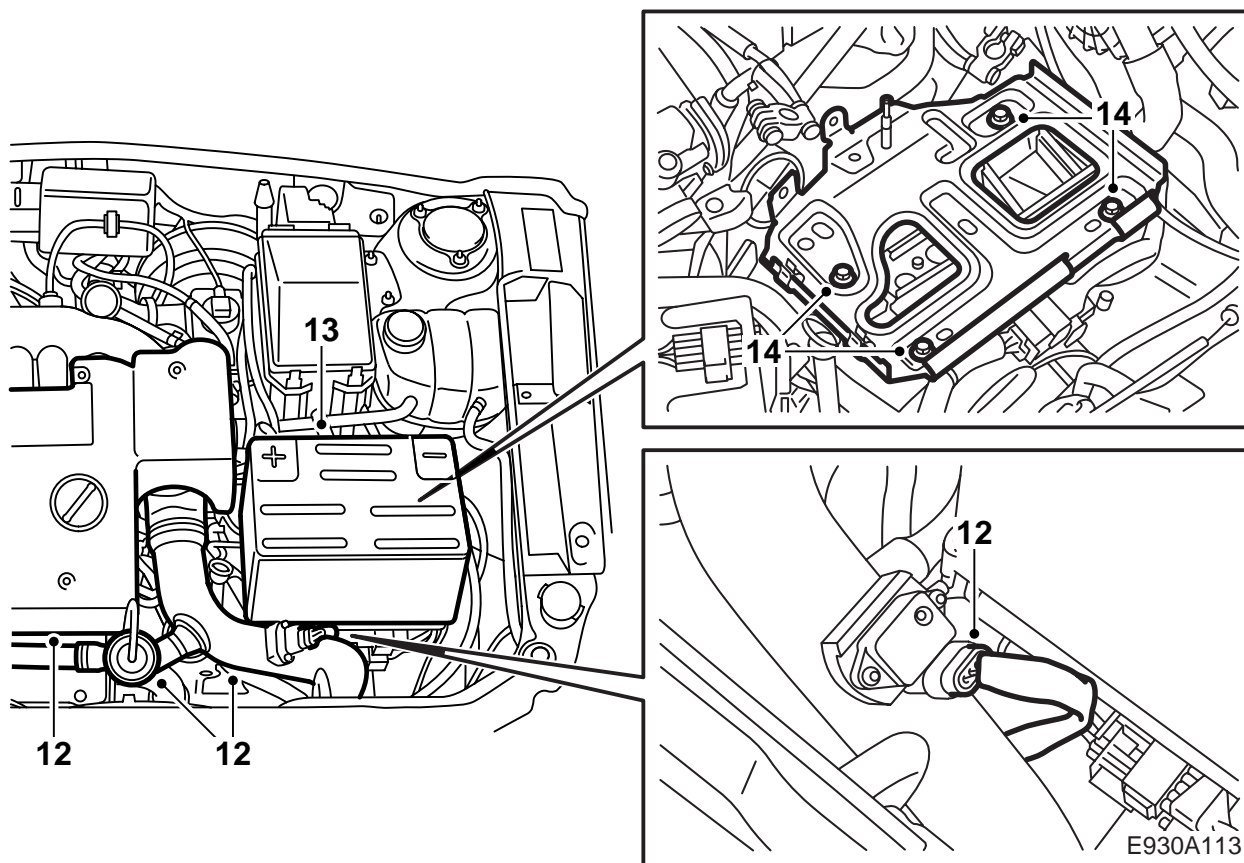


- 5 バンパーアウトケーシングへのインタークソケット取り付けに適した作業高さまで車をリフトダウンする。
- 6 粘着式型紙を使って、インタークソケット用の切り欠きを施すべき場所に印を付ける。図を参照し、バンパーの各開口部の上に定規またはテープをあてがい、型紙を配置すべき場所を割り出す。
- 7 **30 mm** のホールソーを使って慎重に穴を 1箇所あける。前もってホールソーのガイドピンと同じサイズのドリルで予備穴を施しておく。穴のエッジのバリ取りを行い、4 mm の丸やすりを使ってロック溝を施す。型紙を除去する。
- 8 前面からインタークソケットのエキスパンディングスリーブをセットし、バンパー裏側に補強プレートをセットする。ヒーターのインタークソケットを取り付ける。インタークソケットを引っ張ってしっかり固定するために接続ケーブルを使用する。インタークソケットがしっかり納まる所まで時計回りに振じる。
- 9 車をリフトアップし、ラジエーターのドレインプラグを締め付ける。



E930A112

- 10 ラジエーターとサブフレームの間にインテークケーブルを敷設する。インテークケーブルの接続部をトランスミッション天面にセットし、図に従ってインテークケーブルを固定する。
- 11 エアシールドを取り付け、車をリフトダウンする。

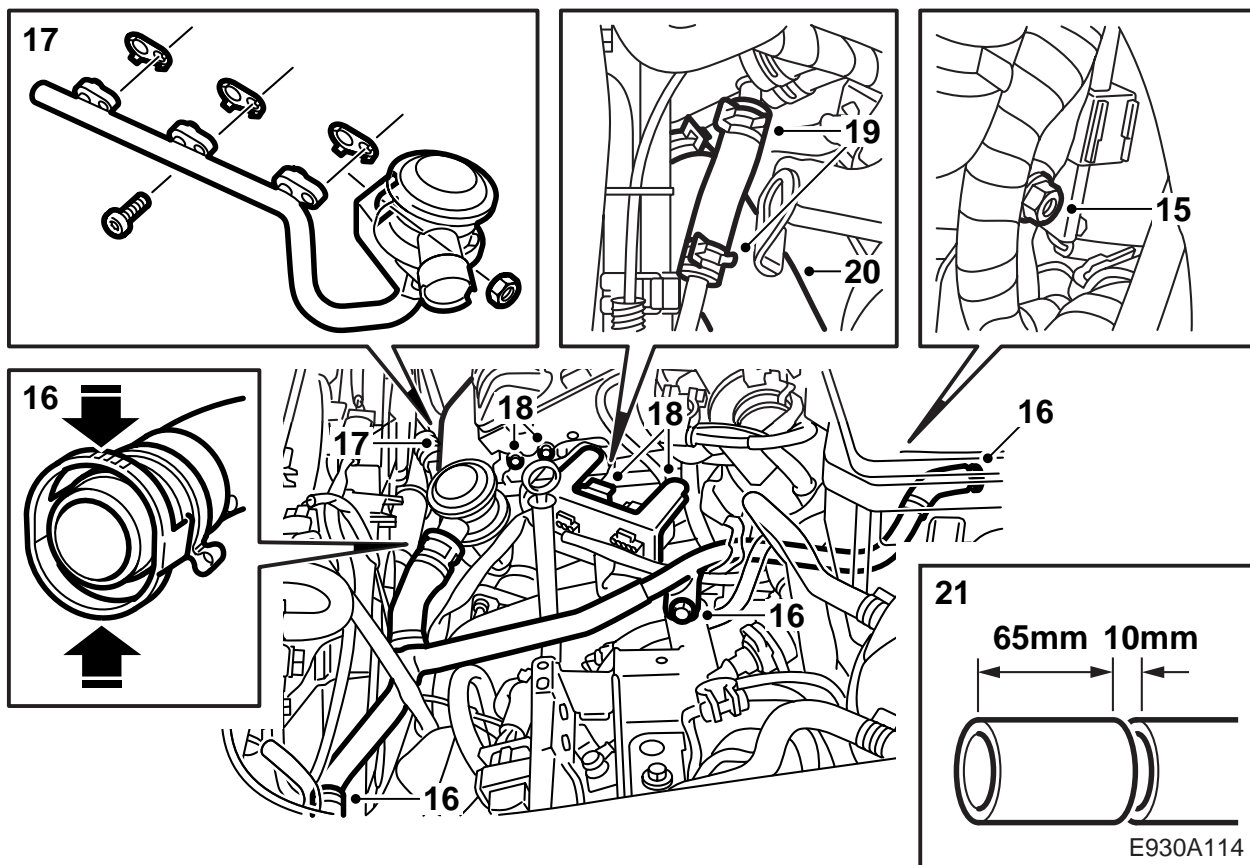


12 エンジンカバーとバルブ付きバイパスパイプを取り外し、ターボインレットパイプのパイプインレットに栓を施す。

温度 / プレッシャーセンサーコネクターハウジングを外し、ターボチャージャーデリバリーパイプを取り外す。

13 バッテリーを覆うカバーを取り除き、各バッテリーケーブルとベントホースを外し、バッテリーを取り外す。

14 バッテリートレイを取り外す。

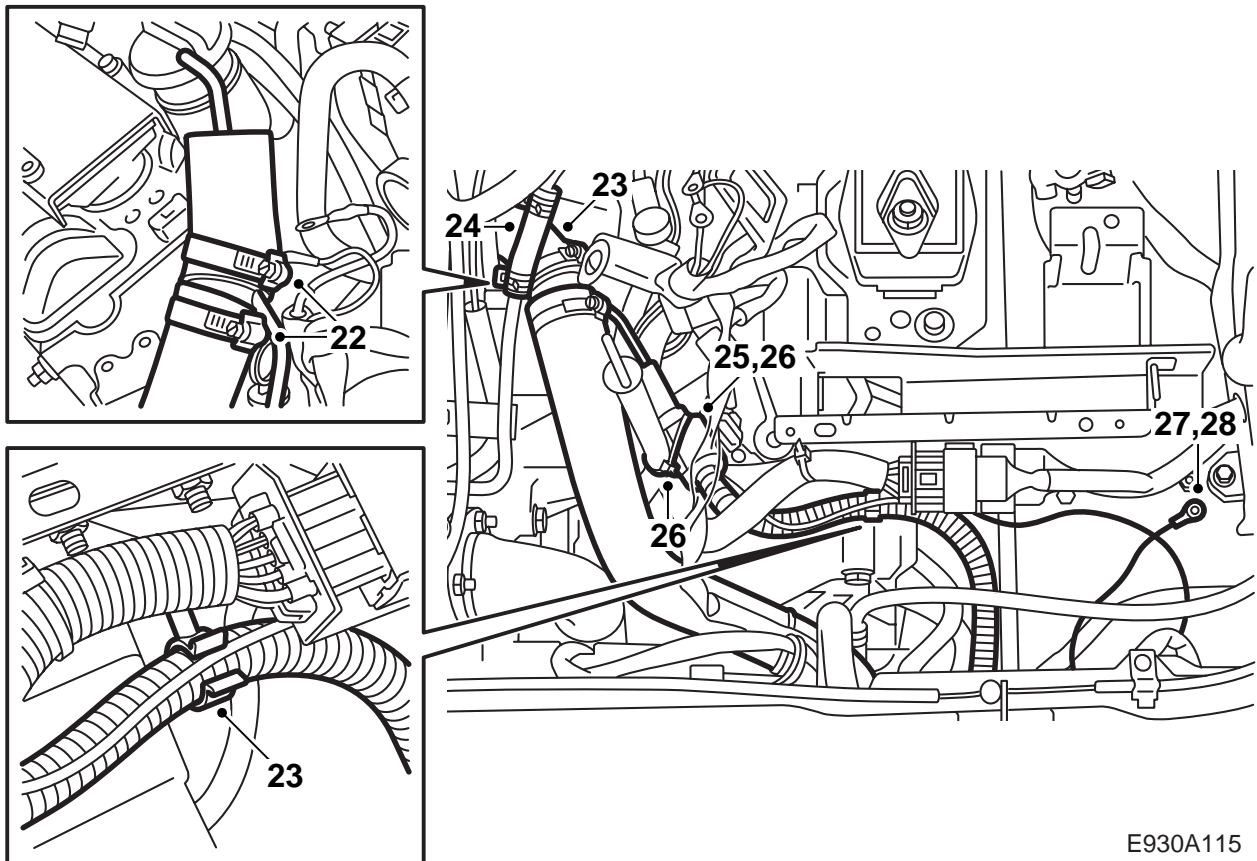


- 15 エンジンとトランスミッションの間の取付具からコネクターを分離して外す。
- 16 各バルブおよびフィードホースからエアインジェクションパイプを外す。取付具を外し、エアインジェクションパイプを取り外す。
- 17 排気熱遮蔽板とパイプつきバルブを取り外す。

重要事項

ガスケット 3 枚を破棄する。これらのガスケットは、パイプを取り外したときは**必ず**交換する必要がある。

- 18 エンジンとトランスミッションからワイヤーハーネス付きの取付具を外し、シリンダーヘッド上のアースを外す。邪魔にならないように取付具を除けておく。
- 19 冷却液パイプからターボの継手ホースを取り外す。
- 20 パイプエンドから冷却液ホースを外す。
- 21 テープなどを使ってマーキングを施し、図に従って、冷却液インレットからエンジンに向かって 65 mm の箇所まで冷却液ホースを切断し、10 mm 分を除去する。



E930A115

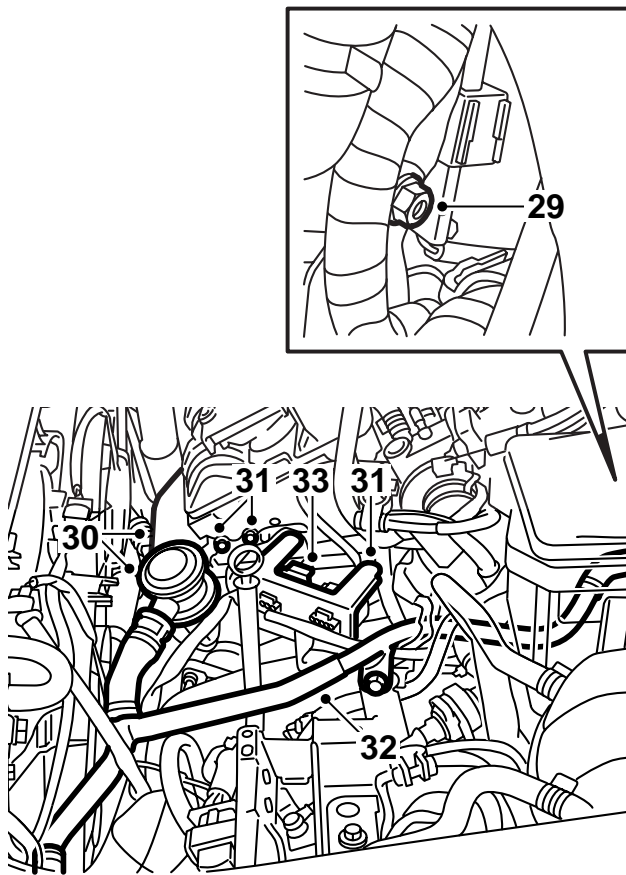
- 22 ホースクランプ 2 個を使い、ホースに発熱体を取り付ける。ホース内の発熱体の位置を確認し、発熱体本体がどこにも触れていないことを確かめる。各ホースクランプの位置は、あとから調整ができるようにしておく必要がある。
- 23 パイプエンドに冷却液ホースを取り付け、インテークケーブルは、ダブルクリップを使ってトランスミッションケーブルへ、また結束バンド 1 本を使って左ストラクチャーメンバーへ固定する。
- 24 ターボに向かう冷却液パイプに継手ホースを取り付ける。
- 25 インテークケーブルを敷設し、O リングに無酸ワセリンを塗布する。発熱体にインテークケーブルを接続する。
- 26 接続部にロッククリップを被せて取り付ける。ロッククリップが正しく取り付けられると、カチッという音が聞こえる。
結束バンドを使ってトランスミッションのオイルレベルゲージチューブにケーブルを固定する。

- 28 アース接続を完全なものにするため、塗装をきれいに掻き落として、インテークケーブルに沿ってアース線を敷設し、ネジおよび歯付座金（歯付座金はアース線端子とボディの間に配置する必要あり）を使ってアース線をしっかりねじ留めする。パーツ番号 30 15 971 の浸透性防錆剤を塗布する。

⚠ 警告

可動面、鋭い面、熱くなる面などにケーブルが接触しないように気をつけること。結束バンドでケーブルを固定する。

- 27 3.5 mm のドリルを使い、左ストラクチャーメンバーにアース線用の穴をあける。



- 29 取付具を元のように曲げ戻す。
30 パイプつきバルブを取り付ける。

重要事項

パイプ付きバルブが取り外されたときには、必ず新品のガスケットを取り付けること。

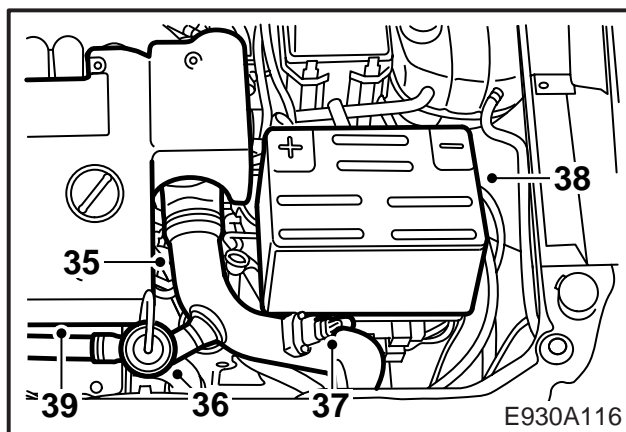
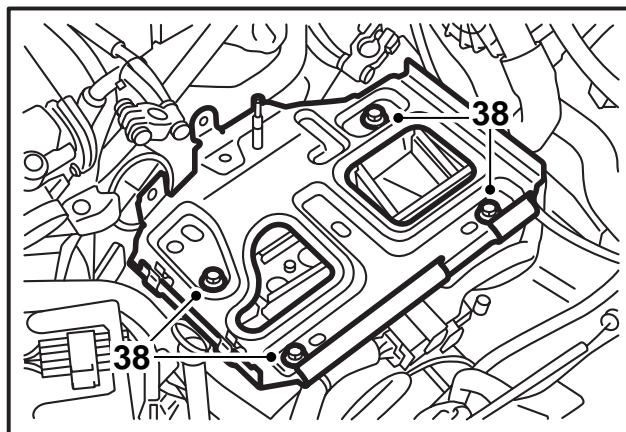
排気熱遮蔽板を取り付ける。

- 31 ワイヤハーネス付き取付具を取り付ける。各アースケーブルをしっかりねじ留めする。
32 各バルブのエアインジェクションパイプ、取付具、フィードホースを取り付ける。

重要事項

各バルブにパイプが正しく接続されていることを確認する。図を参照のこと。

- 33 取付具にコネクターを取り付け、接続する。
34 インタークソケットのアース端子、ヒーターのケーシング、車のボディの間のアース中継を点検する。
35 ターボチャージャーデリバリーパイプを引き降ろし、インタークーラーとスロットルボディに接続する。車をリフトアップし、パイプが正しく接続されていることを確認する。インタークーラーとターボチャージャーデリバリーパイプにホースクランプを締結する。車をリフトダウンする。
36 栓を除去してバルブ付きバイパスパイプを取り付ける。エンジンカバーを取り付ける。



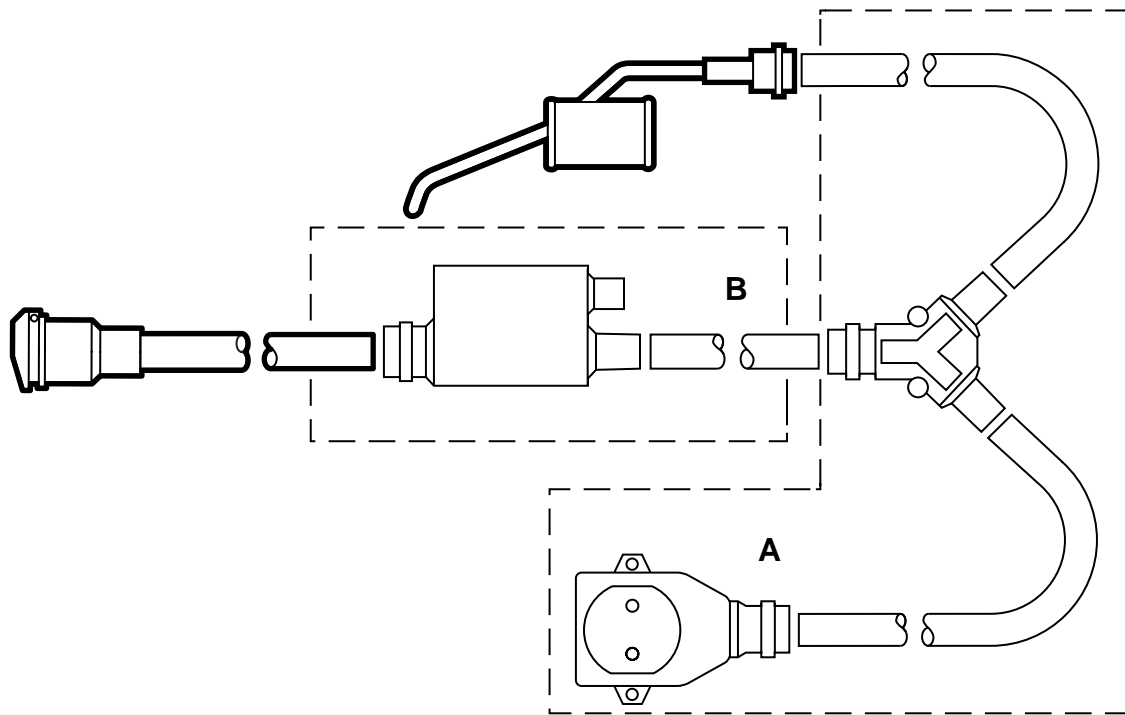
- 37 ターボチャージャーデリバリーパイプ上の温度 / プレッシャーセンサーコネクターハウジングを接続する。
38 バッテリートレイとバッテリーを取り付ける。バッテリーを接続し、バッテリーカバーを元通りセットする。
39 冷却液を充填し、システムに漏れのないことを確認する。
40 下記の方法により、冷却装置のエア抜きを行う：

注記

AC/ACC が OFF 位置となっている必要がある。

システムに MAX レベルまで冷却液を充填して、エキスパンションタンクのキャップを閉じ、エンジンを始動して冷却ファンがスタートするまで回転数を変化させながら暖機運転を行う。エキスパンションタンクのキャップを慎重に開き、再度 MAX レベルまで冷却液を満たす。キャップを閉じ、さらに3度冷却ファンがスタートするまで回転数を変化させながらエンジンを動かしておく。エンジンを切り、必要に応じて MAX レベルまで冷却液を補充する。ヒーター機能を確認する

- 41 日付を含めて車の時計を調整し、ラジオコードがあればそれも調整する。
42 車に取付説明書を納め、顧客には利用の手引きがあることを指摘しておく。



E930A082

- A 分岐配線キット
- B タイマーキット

利用の手引き

- 接続ケーブルは、屋外使用が認められた耐油性ゴムケーブルで、断面積が $3 \times 1.5\text{mm}^2$ 以上あるものを使用する必要があります。
- エンジンヒーターは、アースされたコンセントにのみ接続して下さい。
- ケーブル類は注意して取り扱って下さい。ケーブルがボンネットとボディの間に挟まったり、鋭いメタルパーツで損傷する恐れがあるので、こうした点には特に気を付けて下さい。



警告

インタークソケットのアース端子、ヒーターケーシング、および車ボディ間のアース中継を定期的に点検して下さい。

- 接続ケーブルは、損傷や劣化がないか定期的に点検して下さい。損傷のあるケーブルは直ちに交換しなければなりません。

注記

下記の場合、ヒーターの機能が低下する恐れがあります：

- 冷却液が汚れている場合
- 冷却液レベルが不十分であるか、システムに空気が混入している場合
- システムにみぞれ状の氷がある場合
- ラジエーターセメントが使用されている場合